

八丈島 JAZZ フェスティバル 2021、YouTube 録画配信にて開催しました！

今年の八丈島 JAZZ フェスティバルは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ホールでの通常開催を見送り、YouTube 録画配信にて実施しました。出演団体が八丈島の随所で演奏した様子を撮影。9月20日に1回限定のライブ配信を行い、再生回数1482回、同時視聴数351台と、島内だけでなく島外からも、大勢の方にご視聴いただきました。本編の配信は終了しましたが、CJPバンドによるフィナーレを、協会ホームページの「八丈島 JAZZ フェスティバル」のページで公開中です。ぜひご覧ください

大賀郷中
音楽部



三原中音楽部・富士中吹奏楽部



三原小エンジョイアンサンブル



三根小子どもアンサンブル



CJPバンド



八丈高校吹奏楽部 ※第61回東京都吹奏楽コンクール参加映像を、(株)パルス東京様よりご提供いただき配信しました

〈感想の一部をご紹介します！〉

☆会場で見るとはまた違った魅力があり、とても素晴らしかったです。出演者はもちろん、家族にとっても思い出に残るイベントを開催していただき、ありがとうございました。

☆色々制限がかかる中、よく練習されていて、演奏者およびスタッフの皆さんの頑張りを感ぜられました。

☆遠方や海外に居る家族や友人にも見てもらう事が出来ました。沢山のご苦労があったかと思いますが、子どもたちの頑張りをどうにかして届けようと言う熱い想いが伝わりました！

☆皆さんの演奏、素晴らしかったです。イベントのできない今、大変貴重なステージをありがとうございました。

八丈島文化協会 会報 第37号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2021年11月12日 発行



「八丈町文化功労賞」を受けて

令和3年度の八丈町表彰において、文化功労賞を下記の個人・団体が受賞されました。

八丈町の文化功労賞をいただき、本当に有難うございます。

80才近くなりますが、日本舞踊を続けて来て本当によかったと思います。特に国技館での民謡全国大会に出場、「八丈太鼓ばやし」が高く評価され、全国10位内に入った事は忘れられません。また国立劇場、コマ劇場、靖国神社など大きな舞台で、八丈島の民芸・民謡を披露することで、八丈島の伝統文化を舞踊を通じて広くお伝えすることが出来ました。



島内では1月の文化フェスティバル、3月 連合婦人会、5月 発表会、6月 老人ホーム慰問、7月 夏祭り、10月 大神宮祭り、11月 開善院(お十夜)、12月 高齢者演芸大会に参加し、元気に踊っております。

檜之扇会 代表 奥山千鶴子



【八丈島子ども文庫連絡会】 この度は、この様な賞を頂きまして、ありがとうございます。八丈島子ども文庫連絡会は、昭和48年に町立図書館での「よみかせ」を初めとし、その後各地域での「よみかせ」へと移行し活動を続けている団体です。現在の活動内容は、年に一度の文庫まつりや毎月の図書館や各地域での読み聞かせ、工作等を子どもたちに行っています。この賞を励みに、これからも子どもたちに本の楽しさを伝えていきたいと思っています。

【八丈島あそびと文化のNPO あびの実】 この度、文化協会のご推薦をいただき、八丈町文化功労賞を戴きました。

34年間おや子の文化芸術体験の場を提供し、島の文化環境の向上を考えて来た「NPO あびの実」の活動を認めていただいたものと、深く御礼申し上げます。

社会情勢の変化に伴い子どもたちやその環境も大きく変わっています。時宜を見極め、私たちも変われるところは変えて、これからも八丈町の文化の発展に貢献していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。



【劇団 かぶつ】 表彰いただき、ありがとうございます。非常に光栄に思っております。年齢をとって日頃の運動不足の解消と認知症予防にと始めた劇団活動でした。わたくしたちのお芝居を見て、子供たちやお年寄りの笑顔が見れることに、喜びを感じて活動しています。劇の中に八丈語(八丈方言)を入れることで、故郷のことは残すお手伝いができれば幸いです。八丈語を多くの人に伝えていけるお芝居をお見せできればと思っております。劇団かぶつ代表 山下 和彦



第80回八丈島民大学講座 終わる

～ リモートの受講者を交えて ～

第80回八丈島民大学講座（都立大と共催・町教委後援）が、7月24（土）・25日（日）午後1時から八丈町商工会研修室で行われました。

24日は、都市環境学部加藤俊吾准教授による「大気に関する環境問題ー光化学オキシダント・PM2.5・オゾンホール科学」。簡単に移動して混ざりやすい大気中の微小粒子物質は、地域的な大気汚染、地球全体の環境問題として多くの人に影響を及ぼします。微小粒子物質発生のメカニズム、影響と対策について学びました。会場での対面講座に34人、リモートでの参加者は15人。

25日はオンライン講座で、人文社会学部阿部彩教授による「日本の子どもの貧困を考える」。13.5%（2018年値）という日本の子どもの貧困率は、コロナ禍により現在さらに上昇中。先進諸国の一つである日本で、人間としての尊厳を保つことが困難な相対的貧困の実態を多くのデータで学びました。会場のオンライン講座に36人、リモートでの受講者16人。

PDF資料「大気に関する環境問題」は島民大学講座HPからご覧いただけます。「日本の子どもの貧困を考える」閲覧をご希望の方は、八丈島文化協会までご連絡ください。



《受講者の声》

・オゾン層に関して、成層圏と対流圏で環境に与える作用が違う事への解説は、なんとなく疑問であったので、大変興味深い内容でした。別の機会に、日本の産業界の環境対策に向けた努力にフォーカスした講話があると良いかなと思いました。50代・男性（オンライン）

・理系分野に苦手意識があり、理解ができるか心配でしたが、グラフなどを使ってわかりやすく解説してくださったおかげで、興味深く聞くことができました。有意義な時間でした。50代・女性（オンライン）

・本講義の内容をどこまで子供達に伝えるべきだと思うか気になりました。「自己肯定感」がもてない子が今日の話を聞き、「自分の落ち度ではなく、社会の構造の問題なのだ」と思ってくれればよいですが、「貧困家庭に生まれてしまったからもう手遅れだ」とさらなる絶望を与えてしまう危険性もあると思います。阿部先生は、今日のような内容の中・高生に話すとき、どのような配慮をしているのか、知りたいです。30代・男性・教員

・日本の現状がよくわかりました。改善に向けて、個人としてやれることを示してくださったのがよかったです。教育問題だけでなく、少しでも自分にできることをやっというと思いました。このような学びの機会は改めてとても大事だと認識しました。コロナ禍の中での開催、本当に大変だったと思います。ありがとうございました。50代・女性（オンライン）

あびの実公演

水島一江&ストリングラフィアンザンブル 「糸の森の音楽会」

日時：2021年12月5日(日) 午後2時30分開場 午後3時開演

場所：三根小学校・体育館

お待たせしました。「あびの実」としては、前回は2019年10月の「ヘンゼルとグレーテル」だったので、なんと2年ぶりの公演となります。

今回お呼びするのは「糸の森の音楽会」。「糸の森」とは開場にはりめぐらされた約100本の絹糸のこと。そしてこれを3人の演者が奏でながら舞い、舞いながら奏で、そのしなやかな手と体の動きは美しい舞いのごとく、会場全体が大きな弦楽器と化し、聴く私たちは音に包まれその流れに身をまかせ……これが「糸の森の音楽会」です。

コロナ禍の中で緊張し、疑心暗鬼で過ごしていた日常でしたが、やさしい調べに身を浸し、ゆったりとした開放感を味わってください。

出演：スタジオ・イヴ



八丈島自然っ子クラブ

コロナに負けず八丈小島へ上陸（八丈小島体験事業）

令和3年度の八丈島自然っ子クラブも、コロナウィルスの影響で多難なスタートとなりましたが、どうにか7月24日（土）に、八丈小島上陸体験を実施することができました。青い空！ 白い雲！ 素晴らしい好天に恵まれ、総勢51名が参加し、2隻の渡船に分乗して小島を目指しました。

都内では4回目のコロナ緊急事態宣言中でしたが、幸いにも島内で感染者が出ていないことから、毎日の健康チェックと上京後14日間以上経過していることを参加条件としました。また、朝の受付時に検温と手指消毒、乗船中はマスク着用を徹底しコロナ対策に万全を期しました。

遠い台風の影響で少々うねりがあったものの、船長さんのおかげで小島の北側にあたる鳥打地区に無事上陸。担当スタッフがベースキャンプを設営している間に、集落跡地付近まで散策しながら小島のことを学習します。続いては海遊び。上陸地点の岩場から真っ青な海に飛び込むと、そこは水深8mの別世界。深い海にのんびりプカプカ浮かぶ子や、高い岩場から何度も飛び込み挑戦する子など、思い思いに小島の海を楽しみました。

お昼近くになったので、今度は磯もの採りを体験します。小島の豊かな磯場だけに、短時間で大鍋いっぱいのおかきやカミが採れました。昼食では、先ほどのセノカミとスタッフが素潜りで獲ってきたアカバをふんだんに入れた磯もの汁が好評でした。

午後からはうねりが大きくなってきたので、安全を考慮しながらタイドプールでの磯遊びや即席スイカ割り大会を楽しんで、無人島の夏を満喫しました。

八丈小島体験事業には、今年も八丈島文化協会から補助金をいただき、多くの子ども達と貴重な体験をすることができました。皆様のご理解ご協力ありがとうございました。



第32回八丈島文化フェスティバル開催決定！

このたび、第32回八丈島文化フェスティバルの開催が決まりました。今年はコロナ禍での実施となるため、規模を縮小するとともに、舞台部門については、例年とは異なる舞台構成・運営方法で実施します。詳細は12月以降にホームページ、FAXメール通信等でお知らせいたします。

◇ 舞台部門 2022年1月23日(日) 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

◇ 作品展部門 2022年1月16日(日)～1月23日(日) 町民ギャラリー

※ 次の場合は、舞台部門の開催を中止しますので、あらかじめご了承ください。

①開催1ヶ月前～開催までの期間に緊急事態宣言が発令された場合

②開催2週間前～開催までの期間に島内で島民のコロナウイルス感染者が確認された場合

※ 町施設の利用が休止された場合は、両部門とも開催中止となります。

2021年度 芸能文化祭は3月6日に開催予定

芸能文化祭は、ここ2回コロナ禍のために開催できませんでした。特に、「大人から子どもが主人公に」と方針を大転換し、途中まで準備して取り組んだ、1999年度の開催ができなかったことは非常に残念なことでした。

今年度もコロナ禍が収まらず、一時は東京都の感染者数が6000人近くなるという時期もあり、コロナ宣言も発せられて、島内の芸能関係団体の練習も自粛えざるを得ない状況でしたが、最近、一応感染者数の減少・安定化の動きになってきていますので、活動も再開されつつあります。

やはり3回連続で開催中止というのもどうかと思い、練習もできない中ですので、今回は子ども中心ではなく大人中心の芸能文化祭ということで、関係団体にアンケートを実施しました。その結果、月曜会、よされ会、榎立踊り保存会、中之郷やととんの会、加茂川会さんの賛同が得られましたので、一応次のように開催を計画しています。

●開催予定日：2022年3月6日(日) 午後

●開催場所：おじゃれホール

コロナ禍の今後は予測できませんが、開催できることを願っています。